平成28年度予算を可決しました！

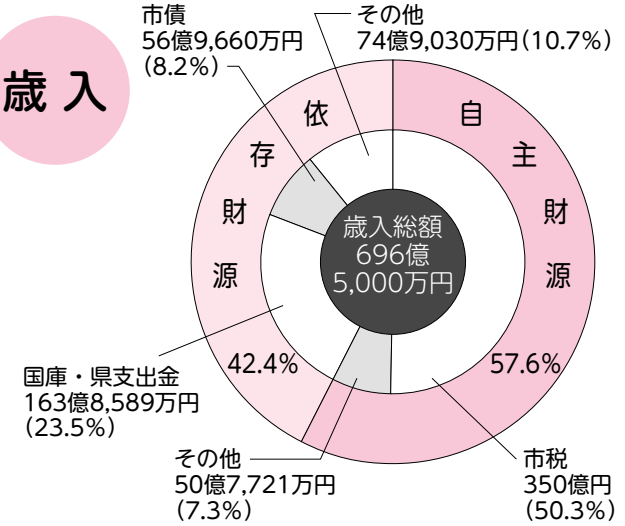
総額 1,416 億 8,490 万円

一般会計

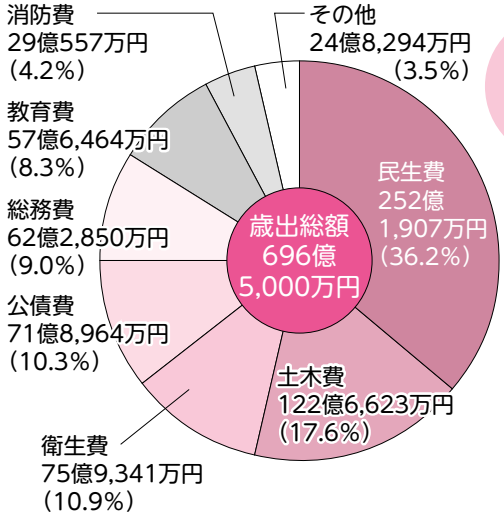
一般会計は、市民税などの市税を主な財源として、道路や学校の整備、福祉やごみの処理などの事業を行うための会計です。

平成 28 年度予算額	平成 27 年度予算額	比　較　増　減	増減率
696 億 5,000 万円	710 億円	△ 13 億 5,000 万円	△ 1.9%

歳入



歳出



一般会計予算決算委員会での主な質疑

問 平成28年度における児童扶養手当の拡充内容は。

答 ひとり親家庭の応援施策として、経済的な支援の拡充を図ることを目的に、子供が2人以上いる世帯の手当額について、現行、月額で、第2子については5,000円、第3子以降は1人につき3,000円を支給しているものを、平成28年8月分からは、所得に応じて、第2子については最大1万円、第3子以降は1人につき最大6,000円を支給するものである。

問 沼津しごと応援事業の内容は。

答 市内企業の安定した雇用の確保を図るとともに、市内企業への就労促進により定住人口を確保することを目的に、本市独自の就職応援サイトを立ち上げ、本市に立地する企業の魅力を十分に発信し、市内企業への就職活動がしやすい環境を整え、若者のU・I・Jターンを支援する。また、高校生を対象とした就職支援セミナーの開催により、就業意識を高めるとともに、早期離職の防止に向けた取り組みを行うものである。

問 空き家等への対応状況と平成28年度における取り組みは。

答 沼津市空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例が、平成27年4月1日に施行されたことにより、税情報等による所有者等の調査が可能になり、全ての空き家の所有者等に適正管理についての文書を送付し、現在は案件ごと個別に対応している。また、平成28年度については、条例に基づき、空き家等の状況や命令等の措置に関して審議を行う「空き家等対策審議会」を設置する。

問 学校規模・学校配置適正化推進事業の内容は。

答 平成27年度に策定した「沼津市立小・中学校の適正規模・適正配置の概略方針」に基づき、まちづくりの観点を踏まえた上で、適正規模・適正配置に係る基本方針を策定する。平成28年度においては、今後、児童生徒の著しい減少が見込まれる戸田地区において推進委員会を設置し、適正化に向けた検討を行っていく予定である。

問 第4次総合計画に掲げる主要施策について、平成28年度予算への反映は。

答 少子化対策・子育て支援、民間と連携した活力あるまちづくり、国際化に対応するコミュニケーション能力の向上に力を入れることとし、後期推進計画に掲げる主要事業について、約108億3,000万円を予算計上している。第4次総合計画に掲げる予算としては、環境にやさしく、安全・安心を実感できるまちについては17事業、約47億8,000万円、元気でいきいきと暮らせるまちについては22事業、約16億3,000万円、魅力と活力にあふれ、にぎわいに満ちたまちについては31事業、約44億2,000万円をそれぞれ予算計上している。